

夢授業で語る奥田選手



陸上十種競技 奥田選手 特別講座

ライバルは「仲間」

第一学院高
秋田キャンパス
競技の魅力語る

陸上競技の十種競技を専門とする奥田啓祐選手(26)を招いた特別講座が12日、秋田市広面の第一学院高等学校秋田キャンパスで開かれた。奥田選手は生徒に向けて、競技の魅力や挑戦することの大切さなどを説いた。

陸上競技の十種競技を専門とした日本選手権では男子十種競技を初制覇した。生徒約20人が出席。奥田選手は、大会の映像をモニターに映しながら十種競技を紹介。1000円や15000円、走り幅跳び、砲丸投げ、走り高跳びなど10種目を2日間で行うことを伝え、「2万円も消費する」と話すと、驚きの声が上がった。

社会で活躍する人を講師に迎える「夢授業」の一環。奥田選手は同校の教員でもあり、現在は東京を拠点に活動する。昨年、秋田市で開かれる「なげやっているのか」と

問われることもあるとし、「競技が大好きだからやっている。つらさを知っているから周囲の選手はライバルではなく仲間。十種競技は『みんなで作るもの』と語った。10、11日に秋田市で開かれた今年の日本選手権は、コンディション不良で欠場。悔しさをにじませながら、「やりたいことに挑戦したり、いろいろなことを体験したりしてほしい。自分の枠からはみ出して成長して」とエールを送った。

聴講した女子生徒(15)は「自分もスポーツをしていて、共感できるところが多かつ

た。自分で考えて行動し、一つの物事をやりきれぬ人になりたい」と話した。

奥田選手はこの日、秋田市

の旭川小学校を訪れ、陸上競技に取り組む児童と交流し、指導に当たった。

(小山田竜士)